

2013 年度 人工知能学会

業績賞



奥乃 博 氏 早稲田大学 教授

<受賞理由>

奥乃氏は、音声だけでなく音楽や混合音を含む音一般を理解するため、音環境理解の研究を先導され、日本発の研究分野としてロボット聴覚の研究と啓蒙を精力的に続けてこられました。

奥乃氏が提唱されたロボット聴覚の分野では、聖徳太子のように音を聞き分けるロボットの聴覚機能を実現され、その成果がロボット聴覚ソフトウェア HARK として公開されています。「ロボット聴覚への貢献」で IEEE フェローに昇格されるなど世界的な評価も高く、ホンダの三話者同時発話認識デモへ展開されるなど、基礎研究を超えた広がりを見せています。

本学会では、「並列人工知能研究会」を立ち上げ、ロボカップ、人工生命、遺伝的アルゴリズム、音環境理解など当時大きくなりつつあった分野を取り上げ、当該分野の発展に尽くされました。これを発展的に継承した「AI チャレンジ研究会」の主査も務められました。その他、編集委員、「知の科学シリーズ」出版委員、広報担当理事、10周年記念 CD-ROM 制作委員長を歴任され、これらの業績により 2013 年に本学会フェローを授与されました。

このような奥乃氏の先駆的な業績と本学会に対する貢献を称え、人工知能学会業績賞を授与いたします。

.....

以上

記事出处：2013 年度 人工知能学会業績賞 会告より引用